

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成21年7月2日(2009.7.2)

【公表番号】特表2008-540020(P2008-540020A)
 【公表日】平成20年11月20日(2008.11.20)
 【年通号数】公開・登録公報2008-046
 【出願番号】特願2008-511860(P2008-511860)
 【国際特許分類】

A 6 1 G 7/00 (2006.01)

A 4 7 C 17/04 (2006.01)

【F I】

A 6 1 G 7/00

A 4 7 C 17/04 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成21年5月15日(2009.5.15)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

シートに連結した背部支持部と、前記シートに連結した少なくともひとつの脚支持部と、該脚支持部に連結した少なくともひとつの移動可能な足支持部と、マルチポジション支持装置の角度位置及び前記移動可能な足支持部の位置とを変更操作し得る少なくともひとつのエンジンとを備えたマルチポジション支持装置において、

前記足支持部は、前記マルチポジション支持装置が横たわった状態から立位へと移り始める際に、前記脚支持部上を前記背部支持部方向に移動した後、さらに、前記足支持部は、前記マルチポジション支持装置がほぼ立位の状態へ達する際に、前記足支持部が床面にほぼ達するまで前記脚支持部上を床方向へと移動することを特徴とするマルチポジション支持装置。

【請求項 2】

請求項 1 において、使用者は前記マルチポジション支持装置に支持され、前記移動可能な足支持部はさらにセンサーを備えて、前記足支持部が前記背部支持部方向へと移る際に、前記センサーからの測定を前記足支持部への使用者の足の接触による前記足支持部の動作の停止に利用することを特徴とするマルチポジション支持装置。

【請求項 3】

請求項 2 において、前記センサーは圧力センサーであることを特徴とするマルチポジション支持装置。

【請求項 4】

請求項 1 又は請求項 2 のいずれか一項において、さらにマットレスを備え、前記移動可能な足支持部は、前記マットレスの挿入口を通じてエンジンと連結されたことを特徴とするマルチポジション支持装置。

【請求項 5】

請求項 1 から請求項 3 のいずれか一項において、前記移動可能な足支持部は、少なくともひとつのアーム状の伸展部を用いるエンジンに接続されたことを特徴とするマルチポジション支持装置。

【請求項 6】

請求項 1 から請求項 5 のいずれか一項において、前記移動可能な足支持部は電動式であって、前記足支持部はさらに対象物の検出に利用するセンサーを備えて、前記センサーは前記足支持部の軌道において対象物を検出して、前記移動可能な電動式足支持部がそれらを押し潰さないように防止することを特徴とするマルチポジション支持装置。

【請求項 7】

立っている使用者を受け入れ、移動可能な足支持部は床面にほぼ接する位置に達し、前記使用者を予め定められたリクライニング位に移らせ、前記移動可能な足支持部は脚支持部上をその使用者の脚方向へと移動し、前記使用者を立位へと戻し、前記足支持部は床へ向って床面にほぼ達するまで動く、ことを特徴とする脚支持部と移動可能な足支持部とを備えたマルチポジション支持装置の使用方法。

【請求項 8】

請求項 7 において、前記使用者を予め定められたリクライニング位に移す動作は、前記使用者が背部方向へと寄り掛かり、そこから予め定められた中間的傾斜角に移り、その後に前記使用者が予め定められたリクライニング状態へと移す過程を含み、さらに、前記使用者を予め定められた立った状態へと戻す動作は、使用者を予め定められた中間的傾斜角へと移し、そこで使用者を前記立った状態へ移行させる予め定められたリクライニング状態へと移す過程を含むことを特徴とするマルチポジション支持装置の使用方法。

【請求項 9】

請求項 7 又は請求項 8 のいずれか一項において、使用者を立った状態へと戻す動作は、前記足支持部の軌道において対象物を検出し、前記マルチポジション支持装置がその対象物を押し潰さないように防止することを特徴とするマルチポジション支持装置の使用方法。

【請求項 10】

請求項 7 又は請求項 8 のいずれか一項において、前記足支持部が前記使用者の足へと移動する過程は、前記足支持部が使用者の足に達するまで動くものであることを特徴とするマルチポジション支持装置の使用方法。